

◆九番(今井光子) (登壇) 私は、日本共産党を代表して一般質問をいたします。

年に一度、三十分しか保証されない質問時間です。日本共産党に寄せられております多くの要望の中から差し迫った課題を中心に質問いたしますので、知事並びに関係部長の積極的なご答弁を期待いたします。

まず、イラク問題について質問します。

奈良県が生んだ作家「住井すゑ 百歳の間宣言」という映画が、生誕地田原本町で上映されました。人間の母親は、人間以上の子どもも産まない、人間以下の子どもも産まない、人間の命は平等、自然のなすことは恐ろしい、しかし、人間がなすことは悪いこと、戦争は人間がなすこと、それは人間の力でやめさせることができる、住井すゑさんのメッセージは、会場を埋め尽くした多くの人々に深い感動を与えてくれました。

二月十四日から十六日にかけて、イラク攻撃ノーの一千万人のデモが、七十八カ国、六百を超える都市で行われ、史上空前の戦争反対の波が地球を包囲しました。アメリカ・ブッシュ政権によるイラクの空爆がどうなるか、世界じゅうが注目し、国内の世論調査でも八割が反対です。ところが、十六日、公明党の冬柴幹事長は、「戦争反対は利敵行為」とテレビ番組で公言。十七日に小泉総理は、「誤ったメッセージを送らないように」と発言。イギリスのストロー外相ですら「世論を考慮しなければ」と反省したことに比べても、極めて異常です。

「国際文化観光・平和県」を標榜する奈良県知事として、戦争反対の立場を表明すべきと考えますが、いかがでしょうか。

◎知事(柿本善也) (登壇) 九番今井議員のご質問にお答えいたします。

私に対する質問の第一点は、イラクに関するご質問でございます。

ご質問の中にもございましたように、平和で安全な社会を実現するということは、地球上のすべての人々の共通の願いであると思いま

す。私もまた、さまざまな問題が平和的に解決することを切に願っている一人でございます。イラクの大量破壊兵器をめぐる問題は、せんじ詰めると、イラクが国連の安保理事会の決議を遵守するかどうか、こういう問題であろうかと考えておりました、平和的に解決されるよう、国連を中心に各国が協調して、あらゆる外交努力を尽くされるよう期待しているものでございます。

また、「国際文化観光・平和県」ということにお触れいただきました。地方政治の立場からいたしますと、「国際文化観光・平和県」として、本県が有する歴史的遺産などの特性を活用しながら、さまざまな分野で国際協力事業を実施し、また、今後とも世界の人々と交流、協力を積極的に進め、相互理解を深める、こういう形でお互いの気持ちの通い合いを深めて、世界平和の実現に寄与してまいりたいと考えております。以上でございます。